

### **人権感覚育成プログラムの実施**

人権感覚プログラムの中の「すてきなものいっぱい～すてきタイムで伝えよう～」を行った。自分の「好きなもの・こと」を絵や言葉でかき、認め合う活動を通して、自分及び全ての友達などをかけがえのない人間として尊重できるようにすることをねらいとした。

桜沢小学校 たんぽぽ・ひまわり学級

トトロ学級で人権感覚育成プログラムの「こんなに大きくなったよ」の授業を実施した。まず、出産前の様子の確認をし、赤ちゃんの人形を抱かせ出生時の重さを実感できるようにした。振り返りでは、「おうちの人のおかげでこんなに大きくなれたこと」「みんなも自分と同じように大切に育てられた」「みんなの命も大事、友達の命の大事」ということを学習した。

用土小学校 トトロ学級

(2)学級活動「すてきなじぶん はっけんのたび」(人権感覚育成プログラム)の実施。

自分ができるようになったこと、役割が増えたことなど、自分自身の生活や成長を振り返る活動を行った。自分自身に対する誇りを持ち、自分を価値のある存在として肯定的に認め、受け入れられるようになった。

鉢形小学校 1年生

(2)学級活動「じぶんのたんけん みらいのじぶんへ」(人権感覚育成プログラム)の実施。

幼いころの写真やエピソードを集める活動を通して、多くの人々の支えにより、自分が大きくなったことを実感した。その中で、いろいろなことが自分のできるようになったことなどに気づき、自分を大切にしようという心情を育むことができた。

鉢形小学校 2年生

(2)学級活動「自分の考えをつたえよう」(人権感覚育成プログラム)の実施。

学級の中で起こりがちな場面のロールプレイを通して、自分の感情や考え他者と伝え合う活動を行った。相互理解のためのコミュニケーション能力の基礎を育てるとともに、自己の存在意義について考えることにつながった。

鉢形小学校 3年生

(2)学級活動「聞くってどういうこと？話すってどういうこと？」(『人権感覚育成プログラム』)の実施。

自分の意見をうまく相手に伝えたり、相手の言うことをよく聞くにはどうすればよいかを体験的に学習したりした。活動を通して、他者への共感や連帯感を育てることができた。

鉢形小学校 4年生

(2)学級活動「ありのままのわたし」(『人権感覚育成プログラム』)の実施。

自分の失敗や過ちについて保護者に叱られた経験などを話し合う学習を行った。グループでのやり取りの中で、自分を過小評価せず、失敗を重ねながらも成長している愛すべき存在として肯定的にとらえる姿勢や自己尊重の感情を育むことができた。

鉢形小学校 5年生

(2)学級活動「あなたの宝物～友達と自分のよさを発見しよう～」(『人権感覚育成プログラム』)の実施。

友達から自分のよいところを挙げてもらう活動を行った。自分の個性を多面的に理解し、自らを価値のある存在として肯定的に受け入れ、自信をもって生きていく意欲など、一人一人の自己肯定感を高めることができた。

鉢形小学校 6年生

全学年が人権感覚育成プログラムにおける事例編3「自己尊重の感情」に関するプログラムにおいて、「いいところ探偵」を行い、自尊感情を高めることができた。

寄居中学校 全学年